

2017年8月28日掲載

## 最新歯科治療

### 割れにくい人工の歯

インプラント治療は、すでにご存じの方も多いと思いますが、顎の骨にチタンなどのスクリューをアンカーとして埋め入れ、その上に人工の歯を作る機能回復治療です。

インプラントの上にかぶせる歯は、どのようなものがあるのでしょうか。インプラントは、この20年で目覚ましい躍進を遂げました。以前はかみ合わせる歯や隣の歯に負担のかからない構造や硬すぎない歯が好ましいと考えられ、自費のプラスチックや、せと物の歯（ポーセレン）が選択されることが多くありましたが、プラスチックは摩耗（すり減り）が、ポーセレンは固すぎて、かみ合わさる音や割れてしまうことが難点でした。しかし、これまでの経過から、硬いことはそれほど問題にならないことが分かってきました。

摩耗してかみ合わせが低くなったり、割れて修復または再製が必要になるプラスチックやポーセレンに替わり、最新医療といえるジルコニア製のCAD・CAM冠（コンピューターを利用し設計、作製する修復物）が応用され始めました。非常に硬い人工ダイヤモンドですが、焼成すると歯に近い色調を発するように生成され、割れにくい性質を持っています。水を吸わないため、汚れも付きにくいです。

また、ジルコニア単体ならば、従来のポーセレンより低価格の場合もあります。詳しくは、最寄りの歯科医院にご相談ください。